

第2部

これからのまちづくりに向けて

総合計画の策定にあたっては、アンケート調査やヒアリング調査、ワークショップの開催を通じて、市民や本市にゆかりのある方など、多くの方から意見をいただきました。

市民アンケート

本市のまちづくりのターゲットに合わせ、小学生、中学生、高校生、大学生、子育て世代、若者移住者、高齢者を対象に、まちづくりのニーズを把握するアンケート調査を実施しました。

■回答者の属性

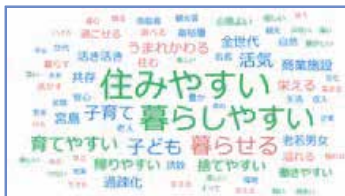
小学生	938	大学生	91	40代	95
中学生	862	20代	130	50代	95
高校生	683	30代	249	65歳以上	460
				合計	3,603

将来像に関するキーワードをテキストマイニング※を用いて抽出しました。

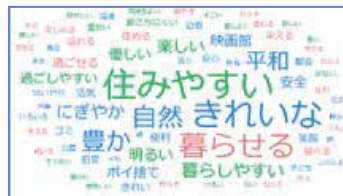
※テキストマイニングとは、文章を単語やフレーズに分解し、その意味を解析し、有益な情報を抽出する技術のことです。赤字が動詞、青字が名詞、緑字が形容詞を示しています。

出典：ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)による分析

若者移住者

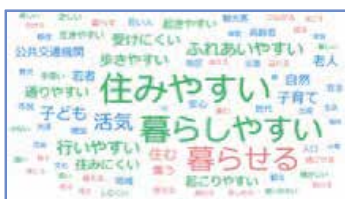


小学生



「住みやすい」や「暮らし」に関する単語が将来像のキーワードとして多く挙がっています。

子育て世代

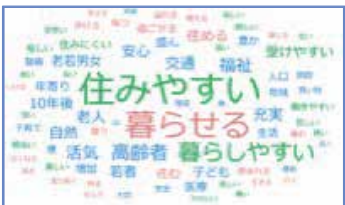


中学生

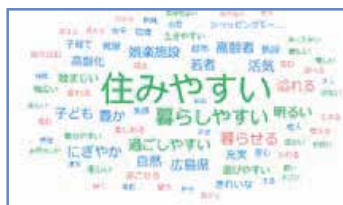


「子ども」や「自然」、「豊かさ」なども複数の世代で共通するキーワードとなっています。

高齢者



高校生



大学生



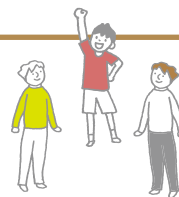
主な意見

- 小学生、中学生、高校生、大学生では、「活気」や「楽しい」がキーワードとして挙がっており、住んでいてワクワク感を感じるまちづくりが望まれています。
- 特に若い世代を中心に「子どもに優しい」、「子育てしやすい」と思うようなまちづくりが求められています。
- 高齢者では、医療・福祉や公共交通といった生活環境の充実やあらゆる面において「優しさ」を感じるまちづくりが求められています。



団体・事業者ヒアリング

まちづくりに関係する各分野の団体や事業者を対象に計19回のヒアリングを実施し、各分野の魅力やセールスポイント、目指すべき姿を聞き取りました。



主な意見

- 本市の強みとして**歴史文化や自然環境、広島市に近い立地条件等**が挙げられています。また、**恵まれた住環境や充実した子育て支援などもまちの魅力**として挙げられています。
- 目指す姿では、**地域や年代などにかかわらず、誰もが暮らしやすいまち**が求められています。
- 恵まれた**歴史文化や地域資源を活かした観光客や移住者に選ばれるまちづくり**も重要な方向性として捉えられています。

分野	魅力・セールスポイント	将来なっしてほしいまちの姿・イメージ
こども・子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・県外からの問い合わせなどで、「子育てしやすいまち」と言われることが多い ・個性ある保育園や幼稚園が多く、子育て家庭にとって選択肢が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体でこどもから高齢者までがいきいきと生活できるまち ・佐伯高校が地域の小中学校を巻き込んだ探究学習を行うなど、地域に開かれた学びの推進
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・市総合健康福祉センターの相談支援拠点整備による福祉部門のワンストップ対応が可能 ・行政や関係団体間の多数の連携が進んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが気軽に声をかけあえる福祉のまち ・大人、こども、高齢者、障がいのある人など、誰もが暮らしやすいまち
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・5地域の消防団の連携が進んでおり、大規模災害に対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が消防、防災活動に対して理解を深め、地域安全に関心を持つまち ・災害が発生してもできるだけ最小限の被害にとどめる地域づくり
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・宮島があり、観光客を呼び込める ・広島市という大きなマーケットに隣接 ・市内の標高差が大きく、年間を通して多様な特産品を供給可能 ・木材加工や食品製造など特徴的な産業が立地 ・平良丘陵開発及び未来物流産業団地造成事業によって人の流れや流通市場が盛んになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・市産材のブランド化を目指し、生産、製造、販売の「木のまち」を目指してほしい ・歴史、自然、文化を守りつつ、世界中から訪れた観光客に喜びと感動を与える島(まち) ・働く人に選ばれるまち ・仕事と暮らしが近いまちはつかいち
生涯学習・スポーツ・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品を有していること ・歴史も含め、文化的な素養が深いまちである ・女子野球タウンであること 	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化度の高いまち」を目指してほしい ・「廿日市らしい」文化を明確にしていく ・多世代がスポーツに親しみやすいまちづくり
都市基盤・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市中心部からのアクセスが良く、高速道路等の交通インフラが充実 ・都市がコンパクトで生活に必要なものが住居の近くで簡単に手に入るので便利 ・自然環境が充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域でも暮らしやすいまち ・交通インフラ、ショッピングセンター、医療機関、教育機関などの充実が必要
地域づくり・人権・多文化共生	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターが地域に密着して活動しようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての市民がワンチームの廿日市市として手を携えて地域のまちづくり活動に取り組んでいる

地域づくり会議

中山間地域に位置する佐伯地域、吉和地域で地域の将来像や抱えている課題、今後必要となる取組、地域が目指すべき姿について話し合いました。

主な意見

- 人口減少等の多くの課題を抱える中山間地域ですが、これからも**自然や住民同士のつながり**といった強みを活かして、「**変わらない暮らし**」を続けていきたいという意見が多くありました。
- また、将来のまちづくりに向けては「**安心して暮らせる環境づくり**」、「**移住・定住の促進**」などのキーワードが多く出ました。



佐伯地域づくり円卓会議

開催概要

各地区から計35名が集まり、佐伯地域でこれからも大切にしていきたいこと、理想の将来像など3つのテーマについて話し合いました。会議終了後には、「同じ思いを持つ人とつながりができたことを嬉しく思う」という感想が多く聞かれました。



主な意見

地域の特徴では、豊かな自然の恵みや人の温かさ、そして歴史街道など受け継がれてきた歴史文化が挙げられました。地域の将来像では、交通や買物環境の充実による「安心して暮らせる環境づくり」のほか移住定住によってまちが活性化していることが挙げられました。

吉和地域づくり会議

開催概要

「吉和地域づくりプラン」で示された地域づくりの取組を振り返り、良かったことや課題であったこと、これからチャレンジしていきたいことを話し合いました。また、会議終了後のロビーには残って話し合いを続ける参加者の皆さんの姿があり、こうした姿からも地域への愛情と熱い思いを感じました。



主な意見

地域の強みとして、住民同士のつながりが強いことや、本市最北端に位置する地域性を活かした特徴的な産物が多くあることが挙げられました。今後取り組みたいことでは、地域資源を活かし、吉和全体をテーマパーク化することや、ネット環境の整備等を行い、移住者を増やすことなどが挙げられました。

若者子ども夢会議

本市にゆかりのある中高生・大学生を含む若者が集まり、将来の夢や理想のまちの姿などについて語り合いました。また、廿日市特別支援学校の高等部3年生が将来の夢と理想のまちの姿を考え発表しました。

主な意見

- 10年後の廿日市市の姿では、「交流・つながり」、「にぎわう」に代表されるように**市民同士がつながり、交流し、活気が生まれる**ことによって、**持続的に成長するまちづくり**を求める声が多くありました。
- その他に「外国人」、「受け入れる」などもキーワードとして挙がっており、国内国外を問わず、**多様な価値観を受け入れ、ともに歩んでいく**ことのできるまちづくりが望まれていました。

若者子ども夢会議

第1回 まちの将来像を 考えてみよう！



自分の夢や実現したいことなどについて対話を重ね、最後に暮らす人みんなが幸せな理想のまちの姿を考えました。

第2回 まちの課題と課題解決 のアイデアを考えよう！



理想のまちの実現に向けた課題と課題解決に向けたアイデアを検討し、特に「交流・つながり」についての意見が多く出ました。

第3回 将来のまちを想像して、 新聞をつくらう！



第1回、第2回の内容をもとに想像を膨らませ、10年後の廿日市市が、どんなまちになっているかを新聞形式で発表しました。

主な意見

- ・若者がしたいことを実現しやすいまち
- ・子どもと大人が気軽につながることができる居場所が多いまち
- ・地域のイベントが減少しているため、つながりを持つ拠点をつくる
- ・就職先の選択肢が少ないため、高校生や大学生と企業のつながりを増やす
- 【参加者が考えた新聞の標題】
- ・つながりのまち 廿日市市
- ・日本一訪れたい街で高校生キャリア支援が始動
- ・廿日市市、教育改革の新時代へ
- ・誰もが住みやすいまち 廿日市市

若者子ども夢会議in廿日市特別支援学校

- ・廿日市特別支援学校阿品台分校の生徒の皆さんと自分の夢、理想のまちの姿を考えました。
- ・将来の夢では、自分の好きなことを活かした個性豊かな夢をたくさん聞くことができました。
- ・理想のまちでは、住みやすいまちの姿やこんなお店や施設がほしいといった具体的な意見がありました。



本市を取り巻く社会潮流や本市の魅力、アンケート調査やワークショップなどの市民参画をもとに、2035(令和17)年度に目指す「まちの将来像」に関するキーワードをまとめました。

1 考慮すべき社会潮流と本市の魅力

社会潮流	本市の魅力
人口減少社会、少子高齢化による 人口構造の変化 防災意識の高まりと 災害に強い まちづくりの推進 一極集中の是正と 地方回帰 の動き グローバル社会 への対応 ともに支え合う社会 へ向けた動き こどもまんなか社会の実現 に向けた動き GX(グリーントランスフォーメーション) の推進 DX(デジタルトランスフォーメーション) の推進	多様な自然環境 を有するまち 魅力的な地域資源 を有するまち 快適に暮らせる まち 特徴的な産業 を有するまち まちづくり活動が盛ん なまち 世界とつながる まち 未来を見据え挑戦する まち

2 市民参画を通じて見えてきたキーワード

市民アンケート

- 若い世代を中心に【こどもに優しい】、【子育てしやすい】と思えるまちづくりが求められています。
- 【活気】や【楽しい】がキーワードとして挙がっており、【ワクワク感を感じる】まちづくりも望まれています。
- 高齢者世代では、【医療・福祉】や【公共交通】といった【生活環境の充実】が求められているほか、あらゆる面において【優しさ】を感じるまちづくりが求められています。
- 【世界遺産・宮島】に関する項目が市民の誇りとして、最も多く挙げられています。

団体・事業者ヒアリング

- 【歴史文化】や【自然環境】、【広島市に近い立地条件】等の強みを有し、これらの恩恵も受け、宮島を中心とする観光業や木材・食品などの【特徴的な産業が発展】しています。
- 地域や年代などにかかわらず、【誰もが暮らしやすいまち】が求められています。
- 恵まれた歴史文化や地域資源を活かし、【観光客や移住者に選ばれるまちづくり】が求められています。

- 【交流・つながり】、【にぎわい】に代表されるように市民同士が【つながり】、交流し、活気が生まれることによって、【持続的に成長するまちづくり】が求められています。
- 【外国人】、【受け入れる】などもキーワードとして挙がっており、国内国外を問わず、【多様な価値観を受け入れ】、ともに歩いていくまちづくりが求められています。
- 人口減少等の多くの課題を抱えてはいるが、これからも【変わらない】暮らしをしていきたいという意見や、現在の地域を【次世代へつないでいきたい】という意見がありました。

3 将来像に関するキーワード

優しさでつながるまちづくり

キーワード：優しさ / 受け入れる / 多様性 / つながり・交流 / ともに支え合う社会へ向けた動き

市民ニーズが多様化する中、誰もが幸せに暮らせるまちづくりが求められています。そのためには、子育て世代や高齢者、外国人など多様な市民がお互いを受け入れ、つながり、支えあうまちづくりを推進するとともに、都市基盤の整備などあらゆる面において「優しさ」を感じるまちづくりが求められています。

歴史への敬意・資源の活用・未来への継承

キーワード：世界遺産(厳島神社) / つなぐ・つなげる / 変わらない

先人から脈々と受け継がれてきた、世界遺産「厳島神社」のある宮島をはじめとする歴史文化や地域資源は、本市の宝であり、現在もこうした資源を活用した産業が本市を支えています。これからも歴史をつないできた先人への敬意を持ち続けるとともに、こうした資源を時代に合った形で活用し、未来へつないでいくことが求められています。

ワクワクする未来への挑戦

キーワード：GXの推進 / DXの推進 / 活気 / 楽しい / ワクワク / にぎわい

現在は、未来を見通すことが難しい時代と言われている一方で、様々な技術革新や新しい価値観の台頭など見方を変えれば、可能性は無限にあります。可能性を活かし、市民みんながワクワクする未来を実現するため、将来を見据え、果敢にチャレンジを繰り返していくことが求められています。

